

# 03

日本一の「ニットの町」を  
地域団体商標による  
ブランド力向上で表舞台へ

## 五泉ニット

新潟県五泉市は、江戸時代に織物産業が生まれ、明治・大正・昭和と羽二重を製織する産地として栄えました。戦後はその基盤を活かしてニット産業が興り、現在は婦人セーターが国内トップの生産額を誇る日本一の「ニットの町」として新しい商品を発信し続けています。さらに地域団体商標を取得することにより認知度を上げて、ブランド力を高めることに産地一丸となって取り組んでいます。



新潟県 五泉市

### 産地一丸で取り組む ブランド化事業のもと 地域団体商標を取得

五泉の強みは、染色・整理・刺繍・プレスといった二次加工技術が集積し、染色から製品の完成まで産地内で完結できること。品質管理も徹底的に行い、商品の優れたクオリティは業界内で高い評価を得ています。ただし、基本はアパレルメーカーのOEM生産

であるため「五泉」の名前は表に出ず、一般消費者の認知度が低いという状況がありました。そこで2015年に五泉ニットブランド化事業を立ち上げ、ニット産地としてのブランドの確立を目指した活動を開始。2017年2月に「五泉ニット」のシンボルとなるブランドマークを発表し、同年10月に地域団体商標を取得したのです。翌年4月にはシンボルマークも商標登録を行い、組合の認証委員会が

商品一点一点を厳しく審査した上で承認したものだけにブランド織ネームの付与を許可。「五泉ニット」のブランド名のもと高品質の商品であることを明確に伝え、認知度の向上も図っています。



## 地域ブランド 10の成功物語 | ブランド力向上事例



【権利者】五泉ニット工業協同組合  
【住所】新潟県五泉市吉沢一丁目1番10号  
【地域団体商標】五泉ニット  
【商標登録】第5987373号

五泉ニット工業  
協同組合  
ホームページへ



審査で承認された商品のみが付与されるブランド織ネーム

### プロモーションを 積極的に展開し 全国区のブランドへ

地域団体商標登録後は、県内外でPR活動をより積極的に行っています。五泉市では毎年2月に「五泉ニットフェス」を開催。一般人が普段見ることができないニット工場の見学や地元高校生のアイデアによるツアー、ニット販売会などを通じて「五泉ニット」を身近に感じることでイベントで、市内

外から集まった大勢の人で「ニットの町」が賑わいます。その一方で、2018年からは東京の銀座や新宿をはじめ、仙台や大阪などでも展示会を開催。「五泉ニット」を全国区のブランドにするための取り組みに力を注いでいます。それらのイベントにおいても新たなシンボルマークが活躍。さらに、2019年には地域団体商標マークの使用許可もおりたためポスターやPOPへの掲載も始めました。一連の活動が功を奏し、「五泉ニット」ブランドへのオファーは着実に増加しています。



「五泉ニットフェス」開催の3日間、町内は大勢の人々で賑わう

### この方々にお話を聞きました！ 五泉ニット工業協同組合



理事長  
高橋 雅文氏

国産素材というだけでなく産地を特定したほうが商品のクオリティを明示できると考え、我々のシンボルマークの付与を提案したところ、多くのアパレルメーカーに採用されました。



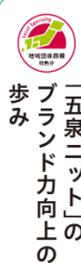
事務局長  
高橋 正春氏

ブランド化事業を進める中、「地域団体」という冠を付けた商標は五泉ブランドに付加価値を与えることができるので魅力的でした。



川島 幹生氏

地元でも五泉市がニット日本一の町であることを知らない人たちは意外と多いです。このような活動でブランド力が高まり、後継者の育成にもつながればと期待しています。



STEP 1 2015年4月

「五泉ニット」の  
ブランド化を  
組合の事業として  
立ち上げる



STEP 2 2017年

「五泉ニット」の  
ブランドマーク発表  
に続き、同年10月に  
地域団体商標を取得



STEP 3 2018年4月

ブランドマークも  
商標登録、品質基準を  
満たした商品だけに  
ブランド織ネームを付与

STEP 4

商標を活用し、地元での  
「五泉ニットフェスタ」  
ほか多彩なイベントで  
PR活動を積極的に展開

